



翠清会 堀川病院

# 翠清会 ニュース



日本医療機能  
評価機構認定施設

医療法人  
翠清会

2019  
春号

No.218号

職員撮影 風景:由志園

今号の内容

- 時間との勝負
- 三叉神経痛(顔の痛み)について
- A病棟 紹介
- 講演会(hitoto 広島)
- 新入職員を迎えました
- 退任の挨拶
- 新任医師紹介
- 学術活動 1月~3月

当院ではWiFi 無料インターネット接続サービスがご利用いただけます。ご希望の方は受付までお問い合わせください。

## 時間との勝負

脳神経外科部長 相原 寛

色々な病気で早期発見・早期治療がすすめられています。中でも発症から数時間の対応が結果を左右する病気の代表が脳梗塞です。脳梗塞は脳血管が詰まることで、脳血流が低下して起こります。その間は脳に酸素や栄養が届かないため脳機能障害が出現します。短時間で血流が再開すれば回復しますが、時間が長くなれば脳梗塞に陥り脳機能障害が残ることになります。早く治療を開始し、脳血流を再開できれば、劇的な症状改善や後遺症の軽減ができる場合があります。脳梗塞の治療は時間との戦いです。しかし、発症から治療開始までには“発見”“救急要請”“救急搬送”“来院後の診察や検査”と治療開始までに要する時間があります。この中で、病院として短縮できるのは来院後の時間です。

当院では救急受け入れ要請から治療までの時間を短縮する取り組みを数年前より行っています。医師のみならず、看護師、事務職、放射線検査技師、臨床検査技師、薬剤師など多職種が知恵を出し合い、救急搬送から治療開始までの時間を1分1秒でも削り落とす努力をしています。その結果、到着から治療開始までの平均時間は、数年前は70分以上だったものが、最近では30分以下に短縮できています。さらに治療開始から血流再開までの時間短縮のために血管内手術などの治療技術の向上にも積極的に取り組んでいます。

救急要請から救急搬送受け入れ先決定までに時間がかかってしまうこともありますが、脳梗塞超急性期患者の救急搬送、受け入れに関する取り組みも、救急隊、各医療機関など広島市全体で時間短縮に向けた取り組みも今春から始まり、当院も全面的に協力をしています。

ただ、残念ながら発見や救急要請までに時間がかかっている場合もあります。独り暮らしのため発見が遅れてしまうこともありますが、異常を発見した場合（特に半身麻痺や言語障害、意識障害、目つきがおかしいなど）は決して様子を見ずに急いで病院へ向かうようにしてください。

# 三叉神経痛（顔の痛み）について

脳神経外科医長 大仲佳祐

ふとした拍子に歯や顎に耐えられないような激痛が走る、でも歯医者に行っても虫歯はないと言われてしまった……  
それは、もしかしたら「三叉神経痛」かもしれません。



## 三叉神経痛とは？

特定の動作をきっかけに、顔の片側に電気の走るような激しい痛みが突然起きて、比較的すぐに消える病気です。痛みは、その特徴から「電撃痛」と呼ばれます。きっかけになる動作としては、例えば「噛む」「歯を磨く」「顔を洗う」「会話をする」などがあります。痛みの場所は、顔の片側のうち特に下顎や頬部に多いことが知られています。なので、虫歯の痛みと勘違いして、歯医者にかかる患者さんもいます。（もちろん、三叉神経痛が原因だった場合、歯に異常はありません。）

## 三叉神経痛の原因は？

三叉神経という、顔の感覚を担う神経が束になって脳幹に入っています。この神経が脳幹に入る前のところで圧迫されると、三叉神経痛が発生することがあります。（神経の圧迫を痛みとして感じてしまうようになります。）圧迫の原因としては、血管が最も多いことが知られています。（血管以外にも腫瘍などが原因のこともあります。）動脈硬化により動脈が蛇行し三叉神経を圧迫するようになってしまうというケースが多く、好発年齢は 50 歳から 70 歳ぐらいです。

## 三叉神経痛の検査は？

問診、診察をして三叉神経痛が疑われる場合には、頭の MRI を撮影します。MRI で三叉神経と血管が接触していれば三叉神経痛の可能性が高いと言えます。

## 三叉神経痛の治療は？

まずは内服による治療を試みます。カルバマゼピンという薬が有効です。ただし、眠気やふらつきといった副作用も多い薬なので、少量から始めて効果が出るまで少しずつ増やしていきます。薬が効かなかったり、副作用が強くて薬が十分な量内服できなかつたりした場合には手術を検討します。耳の後ろ、髪の毛の生え際の内側を 7 cm ほど切って、骨に穴をあけて脳幹の外側後方から三叉神経に近づき、三叉神経を圧迫している原因の血管を動かして圧迫を解除します。（微小血管減圧術と言います。）この手術により、9 割程度の患者さんで痛みが改善もしくは消失すると言われています。そのほか、放射線治療も最近では試みられています。



矢印のところで、動脈が三叉神経を圧迫しています。

当院では三叉神経痛の手術も行っています。気になる症状がある方はぜひご相談ください。



# A 病棟紹介

看護師長 脇本真美



病院 3 階フロア (A 病棟) は、脳神経外科急性期や手術後の患者様を主に受け入れている病棟です。このフロアには HCU(ハイケアユニット) 8 床、一般病床 32 床、包括病床 8 床、手術室、CT 撮影室があり、手術室からの動線を短くするなど、急性期に特化した設計となっています。

脳卒中は突然発症し緊急手術を要する場合も多く、昼夜問わず入院も多く忙しいのが現状です。

忙しい中でも患者様の表情や反応などを気にかけて看護することを大切にしています。そんな日々の中、患者様の回復に喜びを感じ、逆に元気をいただける瞬間もあります。

急な発症で患者様やご家族も不安が多いと思いますが、少しでも不安が軽減し安心して入院生活を送れるようお手伝いさせていただきます。

近年、転倒されて入院される高齢者の方も増えており、入院当日から転倒リスクをスクリーニングし、他職種と週 2 回転倒カンファレンスを行い、過剰な安全対策になっていないか検討し、患者様が自ら動けるための環境づくりを行っています。

スタッフはチームワークも良く、明るく元気な病棟です。忙しい中でも、気配り、目配りができ、思いやりのある看護を提供していけるよう心掛けています。

梶川病院に入院して良かった、と思って頂けるよう笑顔で頑張っていきたいと思っています。

## 講演会 (hitoto広島)

広島市国泰寺地域包括支援センター



平成 31 年 3 月 28 日翠清会梶川病院の大ホールにて、いきいき百歳体操・健康体操の集い「国泰寺圏域げんき人交流会」を開催し、約 70 名の方が参加されました。広島市が推奨している「いきいき百歳体操」の紹介と、国泰寺圏域内 12ヶ所の地域団体より、日頃の活動内容や、自慢ポイント等の発表をしていただきました。「膝痛や腰痛がよくなり外出が増えた」

「立ち座りが楽になった」「体操を通じて参加者の交流が増えた」「これからは季節の行事やヨガも取り入れていきたい」など今後の活動のモチベーション向上につながる声が多く活気ある交流会となりました。地域包括支援センターは、体操の集いをはじめ地域活動の輪がさらに広がるよう、今後も支援していきます。



## 新入職員を迎えました

平成31年4月1日に入社式を行い、医師1名、看護師7名、  
准看護師6名、作業療法士1名、社会福祉士1名、  
医局秘書1名の計17名が入職いたしました。  
皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



## 退任の挨拶

このたび3月末をもちまして退職することとなりました。脳神経内科医として、平成30年4月より勤務させて頂き1年間と短い間ではありましたが脳卒中を中心にいろいろな経験をさせていただきました。当院で経験させて頂いたことを糧に今後の診療も頑張りたいと思います。本当にお世話になりました。



脳神経内科 立山佳祐

## 新任医師紹介

4月より脳神経内科で勤務いたします医師7年目の上村鉄兵と申します。脳卒中を含め、脳神経疾患の中核を担う翠清会梶川病院で働かせていただけることを大変うれしく思います。皆様のお力になれますよう頑張りたいと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。



脳神経内科 上村鉄兵

## 学術活動 1月～3月

1月15日  
第248回めいぶる技塾定例勉強会  
「意識レベルって何なん?」  
放射線部 佐々木大樹

2月6-8日  
International Stroke Conference 2019  
Serum IgG titers of periodontal pathogens predict hemorrhage growth and 3-month outcome in patients with cerebral hemorrhage  
脳神経内科医長 中森正博

2月17日  
第44回広島県病院学会  
急性期における脳卒中ドライバーのスクリーニング評価  
リハビリテーション部 岡田和紀

回復期病棟での脳卒中後うつ背景因子とFIM改善度の検討  
看護部 能城広美

2月23-24日  
平成30年度認定認知症領域検査技師 第5回認定指定講習会  
アルツハイマー型認知症早期発見のための神経心理検査の実践  
臨床検査部 西野真佐美

2月25日  
Knack & Pitfall Club in Neurology 9th  
考える頸動脈エコー  
脳神経内科医長 中森正博

3月21-23日  
第44回日本脳卒中学会学術集会  
脳卒中急性期における嚥下造影検査と舌圧、反復唾液嚥下テストの比較検討  
脳神経内科医長 中森正博

肺動静脈瘻を介した奇異性脳塞栓症の5例  
脳神経内科医長 松島勇人

中大脳動脈領域の広範囲脳梗塞に対して開頭外減圧術を施行した症例の検討 - 特に60歳を超える症例に着目して -  
脳神経外科医長 金子 聡

当院における脳梗塞超急性期多職種連携の取り組みと課題～医事課職員の立場から～  
医事課 土居祐子

当院における脳梗塞超急性期多職種連携の取り組みと課題～救急外来看護師の立場から～  
看護部 高木克己

当院における脳梗塞超急性期多職種連携の取り組みと課題～臨床検査技師の立場から～  
臨床検査部 黒瀬雅子

当院における脳梗塞超急性期多職種連携の取り組みと課題～放射線技師の立場から～  
放射線部 南里涼介

当院における脳梗塞超急性期多職種連携の取り組みと課題～薬剤師の立場から～  
薬剤部 加藤潤一

# 医療法人 翠清会 翠清会梶川病院

TEL : 082-249-6411 FAX : 082-244-7190  
〒730-0053 広島市中区東千田町1丁目1-23  
<http://www.suiseikai.jp>

### 《病院理念》

Patient First 「患者さん第一」  
ファースト・オピニオン(First Opinion)を提示でき、  
セカンド・オピニオン(Second Opinion)を求められる病院に!

### 《基本方針》

- 1 脳の専門病院として24時間、常に質の高い医療を提供します。
- 2 患者さんの権利を尊重します。
- 3 患者さんの安全と安心を確保し、医療事故の予防と対策に努めます。
- 4 急性期から慢性期、在宅までの地域の関連機関と連携を強化します。
- 5 翠清会の職員である誇りを持ち、プロとしての実力を高め、チーム医療に貢献します。

